

御堂筋線梅田駅 アーチ空間 照明リニューアル



所在地：大阪府大阪市北区角田町8-6
規模：1面2線
ホム幅：24.5m
施工主：大阪市交通局
更新電気工事：港振興業㈱
更新工事完了：2016年3月

S372

大阪市営地下鉄の梅田駅を象徴するアーチ空間がリニューアル。
LEDデジタルカラーライティングシステムにより「美」と「ほのぼの」を
テーマにした光空間を創出し、同時に約35%の省エネを実現しました。

2015年10月6日、御堂筋線梅田駅に4代目となるアーチ空間が登場

公営では日本初の地下鉄として知られる、1933年開業の大阪市営地下鉄。御堂筋線を代表する梅田駅は、単一の地下鉄路線の駅では日本で最も乗降客数が多い駅でもあり、1日の乗降客数は40万人を上回ります。この梅田駅で、開業以来親しまれている2番線南側のアーチ空間が4代目へとリニューアル。天井と照明が一体となったデザインにより、斬新な空間と利用者にやさしい光環境を創出しています。

LEDデジタルカラーライティングシステムによる演出照明と調光調色制御

伝統的なフォルムを活かしながら「日本の美、ほのぼの」～LIGHT&SHADOW～をコンセプトに刷新された4代目アーチ空間は、凸凹をもつ逆富士型の小形アーチ部分と天井が一体となったライトアップにより、光と影のコントラストがお客様をやさしく包み込む、幻想的な空間を演出。主照明、演出照明ともにLEDを採用し、従来比約35%の省エネを実現しました。

演出照明には、壁面のライトアップに適したフルカラーLEDフラッドライト（消費電力50W）と、高出力の棒状フルカラーLEDライト（消費電力13W）を採用し、タイムスケジュールコントロール盤、パネルコントロール盤など一式をセットとした、LEDデジタルカラーライティングシステムを構築。赤、緑、青の3色のLEDによる混色制御を行うことで自在なカラー演出を可能とし、8種類の演出プログラムをメモリしています。

また、タイマーユニットによって、主照明の色温度を1日の時間帯に合わせて自動制御し、乗降客の生活サイクルに適した光環境を提供。始発時から10時までの出勤時は5000Kで活気に満ちたイメージに、10時から17時までは4000Kで全体を少し和らげるイメージに、帰宅時の17時から最終は再び5000Kで活気に満ちたイメージにしています。



改札階コンコースの天井照明も直管形LEDベースライトへ更新



改札周辺のLED照明



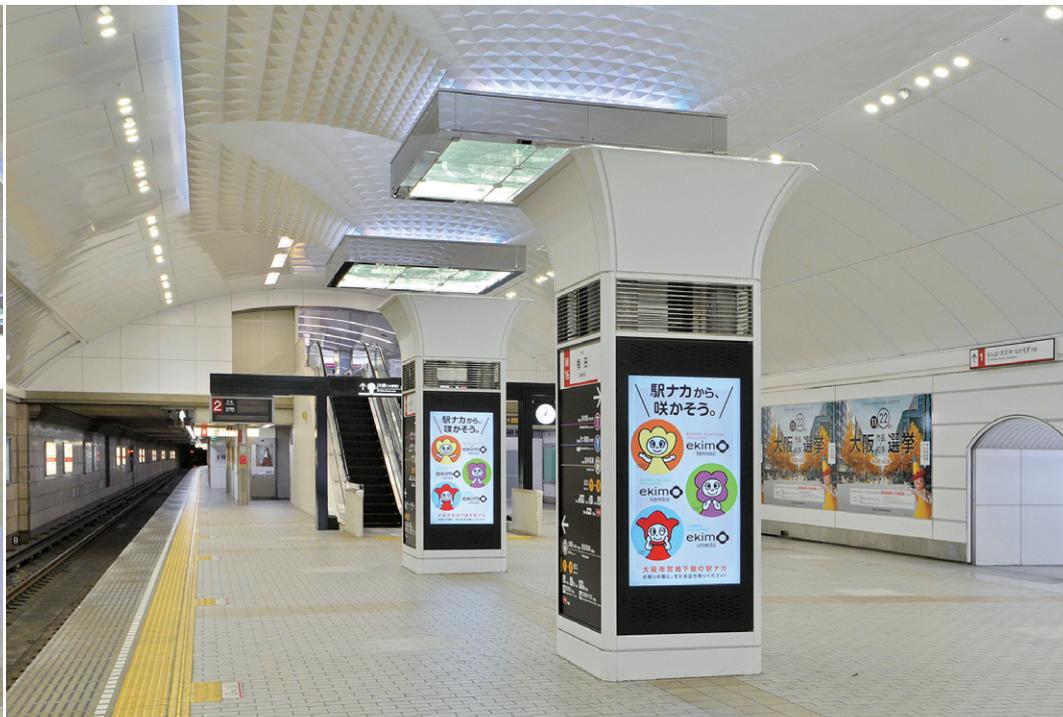
LEDダウンライト等の主照明に加え、フルカラーLEDフラッドライトと棒状フルカラーLEDライトによる演出照明を備えたアーチ空間



LEDフラッドライトの様子



棒状フルカラーLEDライトの様子



2番線ホーム南側から望む

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
ホーム天井 コンコース 他	iColor Cove MX Powercore	TICV-003-MX-MZ	372	LED 消費電力：13W
	Color Blast Powercore	TBLP-004-WHZ	16	LED 消費電力：50W
	直管形 LED ベースライト	LDL40×1 (ガラス管)-LD9	86	ランプ：直管形 LED ランプ LDL40S・N/22/25-81 消費電力：22W
	直管形 LED ランプシステム	LER-41800-LD9	30	ランプ：直管形 LED ランプ LDL40S・N/22/25-81 消費電力：22W
	LED一体形ダウンライト 6000 シリーズ	LEDD-60011N-LD9	24	LED 消費電力：53.4W
	LED ベースライト	LEDT-43701CK-LC9	88	LED 消費電力：51W